

# 同窓会報

発行：東京都立大学  
附属高等学校同窓会  
〒152-0023東京都目黒区八雲1-1-2  
発行人：内野滋雄  
編集：名簿編集委員会

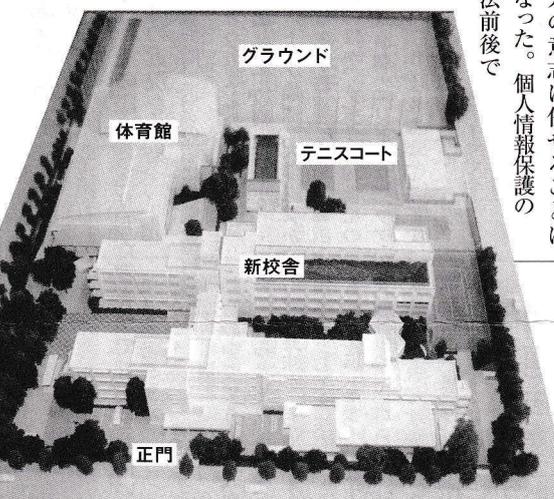
## 同窓会について考えること

理事長 内野滋雄

旧制府立高等学校から始まった八雲丘の母校も、都政・学制の変化により大きく変貌してきた。おかしなことに都立大学は消滅し首都大学東京となっても、なお都立大学附属高校として残っている。いずれは桜修館となることは決定しているのに、数年間には実体の無い大学の附属ということになる。

同窓会の意義、同窓会の存続意味は何だろうか。考え方に個人差が大きいことは、附属高校同窓会名簿発行業務の上でもよくわかる。

同窓会は名簿を発行し、近況を知らせ合うところに意味があると考えていた。従って可能な限り多くの個人情報を集めることが名簿委員の仕事との立場から、旧制府立高等学校の名簿は卒業大学、勤務先、その役職、自宅など多くの情報が盛り込まれている。古い時代の附属高校の名簿は旧制のものに依っていた。しかし学園紛争の頃か



新校舎模型より

## 新校名「東京都立桜修館中等教育学校」に

同窓会の意見は違っても委員会の意見は違つてこざるを得なかった。これでは同窓会名簿としてどのくらい意味があるのか。どのくらい利用価値があるのか疑問視する向きもある。現時点では止むを得ないが、せめて同窓会名簿は旧制のような情報を入れ、見ても飽きないものにならないものか。今の日本に不足している「おおらかさ」が同窓会にあつて欲しいと願っている。

中等教育学校の校名は、正式に「東京都立桜修館（おうしゅうかん）中等教育学校」と決定しました。東京都立大学附属高等学校は、昭和4年より19年間続いた府立高等学校からの校章・校旗・校歌を引き継いでいます。改編される中等教育学校においてもそれらを引き継が

せていただきたいと考えています。その校章は桜の花びらの中に旭日（あさひ）が描かれたデザインになっています。また、校歌の2番には桜花（さくらばな）という言葉が入っており、桜は、これまでの母体校を象徴するものとして重要なキーワードになっています。さらに、学校の近くの呑川本流緑道沿いには有名な桜並木があります。以上のことから、「桜」の文字を取り入れ、本校の校訓とする「真理の探究・高い知性、広い視野、強い意志」の精神を育み、将来様々な場面・分野で活躍するために本校の教育活動の全課程をしっかりと修めて巣立つ学舎（まなびや）にしたいとの願いを込めて、桜修館（おうしゅうかん）と名付けました。

中等教育学校が6年間の教育活動を通じての目指す目標は「社会の様々な場面や分野においてリーダーとして活躍する人材を育成すること」です。そのため、育てたい生徒像として6項目を掲げています。

① 将来の夢や高い志を抱き、自ら進んで考え、自ら  
② 社会の様々な場面・分野においてリーダーとして活躍する生徒。  
③ 真理を探究する精神をもち、自ら課題を発見し、論理的に解決し、適切に表現し行動できる生徒。  
④ 生命や人権を尊重し、他者を思いやり、他者と共に協調する心をもつ生徒。  
⑤ 世界の中の日本人としてのアイデンティティをもつて国際社会に貢献できる生徒。  
⑥ 自らの健康に留意し、体力の向上に努め、健全な精神を維持できる生徒。  
なお、中等教育学校での特色ある教育活動として「論理的な思考力の育成」に力を入れます。そのため、1学年から6学年まで「国語で論理を学ぶ」、「数学で論理を学ぶ」という授業を設定します。また、主に総合的な学習の時間を活用して、毎年、学習論文を作成します。このことは、将来において適切で円滑なコミュニケーションをとることができると信じています。新校舎（本校舎）は11月上旬には完成する予定です。

## 中等教育学校への出発

校長 石坂康倫



私は、昨年度都立立川高等学校より目黒地区中等教育学校（仮称）開設準備担当校長として着任いたしました。今年度には、前任者の松浦克美校長の後任として、東京都立大学附属高等学校長と中等教育学校開設準備担当校長を兼務することになりました。平成18年度には二校が共存することになります。お互いに尊重し、協力しながらそれぞれの学校が発展するよう頑張つていきたいと考えております。

勇気をもって決断し、自ら責任をもって主体的に行動する生徒。

今後の同窓会との関係については、府立高等学校と都立大学附属高等学校の関係のように、両校の同窓会と友好関係を保つていきたいと考えています。私としては、同窓会が新しく誕生する中等教育学校の支援的な働きをしてくださいと協力していただければと願っています。

平成18年度以降の生徒募集についてご説明します。東京都立桜修館中等教育学校は入学者160名（男子80名、女子80名）を募集します。報告書と適性検査と作文の総合成績により入学者を決定します。都立大学附属高等学校でも入学者選抜を行います。今後3年間行い、中等教育学校の第1期生が4学年に進級するとき、高校は募集停止になり、2年生と3年生になる予定です。

特集 恩師は今

同窓会名簿の「現・元恩師名簿」作成の際にお送りした調査票で近況をお伺いし、掲載を承諾していただいた恩師の近況を特集。

50音順に、氏名(旧姓)、担当職、在職期間、近況の順に掲載(敬称略)

青木 興 教頭 H5〜7

平成10年3月、都立町田高等学校を定年退職。現在無職。趣味として、囲碁、将棋、水泳、社交ダンス、詩吟、カラオケなどをやっています。

青木 茂雄 社会 H5〜16  
東京都教育委員会の「日の丸君が代」強制に反対し、「国歌斉唱義務不在確認等請求訴訟」(予防訴訟)原告として、弁護団とともに日夜奮闘しています。

浅沼 清 数学 S50〜59  
77才となり、いろいろ病氣とたたかひながら、静かに過ごしておられます。二人の孫と会うのが楽しみです。

阿部 開造 教頭 S62〜H2  
附属高校を最後に退職後15年間に経ちました。現在は大学で教職課程の2講座を受け持ち、健康に恵まれ充実した日々を過ごしております。

新井 富男 理科(教頭) H2〜3  
病弱の妻と共に、小学校3年生を頭に3人の孫達と遊びながら楽しい日々を過ごしております。「健康第一」を痛感させられる今日この頃です。

新井 房子 数学 H10〜15  
現在、都立芦花高校で教えています。

生田 茂 校長 H13〜15  
2005年5月より、筑波大学人間総合科学研究科所属、附属高等学校教育局勤務

井出 弘之 校長 H7〜8

Dr.ストップ後は、大学退職から6年が経過。講師、翻訳等のほか、イギリス19世紀の大衆演劇(メロドラマ)(ファルズ)が、どんなことばで社会現実に絡んでいたかが、目下のメインテーマです。

伊東 孝 数学 S40〜58  
「毎日が日曜日」で「晴耕雨読」ならぬ、晴読雨読の日々を過ごして居ます。週に一度、神保町まで出掛け、年に2、3度外国に旅行します。健康に感謝する毎日です。

井上 佑子 英語 S46〜60  
今のところ無事に暮らしております。非常勤講師として14年過ごしましたが、とくに英語の選択コースで、数々の文学作品と一緒に勉強した卒業生の方々を、なつかしく存じております。

岩山 敬三 物理 S47〜H1  
趣味の日曜大工と鉄道模型づくりをやっております。なしらる毎日が日曜日です。

上田 貞子 英語 S32〜58  
お蔭様で健康で毎日自分をなりに楽しく過ごして居ります。昭和32年5月から58年3月迄、東京都立大学附属高等学校に在職し、いろいろなことを学ばせて頂きました。本当に素晴らしい大好きな学校でした。

大泉 昭次 国語 S46〜61

動物の中で笑うのは人間だけであるという、その笑いに興味をもつて考えたり調べたりしてきました。今後も続けたいと思っています。

大蔵 隆雄 校長 S56〜58  
大正生まれですから、ある程度の年になりましたが、何とか穏やかに暮らしております。

大濱(正田) あつ子 S61〜H14  
NPO法人スマイルクラブの理事長として、地元柏市を中心に総合型スポーツクラブを立ち上げて5年目となりました。スポーツを通じて、年齢、性別、障害のあるなしにかかわらず、健康となれるよう頑張っています。

岡田 弘 数学 S37〜55  
最近、植物ウォッチングと写真撮影に傾倒し、歩き回っています。

小川 茂代 英語 S58〜H8  
早期退職をしまして、母の介護のため里に行ったり来たりしております。

小川 泉 英語 H6〜17  
2005年4月より竹早高校に異動になりました。

小野 牧夫 国語 S28〜54  
当方も相変わらず、ずっと同じ所です。都立大学附属高校へ通った道路を思い出しております。

貝瀬 輝夫 体育 S42〜43  
現在、財団法人講道館に勤務し、柔道の普及発展に微力を傾注しております。

加瀬 英男 校長 S52〜56

(奥様より)主人は平成13年6月脳梗塞で倒れ、昨年はまた脚の膝下に血栓が出来て左足切断という憂き目を見ましたが、介護保険施設でお世話になっておりますが、元気にしております。

加曾利 郁子 家庭 S57〜H4  
私は都立広尾高退職後、都立大学附属高に講師として着任して居りました。9年間、アツと云う短い期間、それでも教員生活最期をたのしく皆様方と過ごさせて頂きました。旧制府立高校を土台として、又中高一貫教育になるそうで、我が家では主人も学生時代を過ごしましたので、御縁だったなつかしさをかみしめて居ります。只今は家事で精一杯の日々でございます。

勝俣 史子 国語 H10〜16  
平成17年3月31日に定年退職し、4月1日より、嘱託員として、都立富士高等学校で国語を担当致しております。

榊島(齋藤) 純一 社会 H6〜11  
都立荻窪高校に在籍。当校はあと2年で閉校。「自由と自治」は我々教員にとっても永遠の目標であると思っております。しかし現状は重苦しい状況であり、きつとこのしわ寄せは生徒に及んでいるに違いないと思っております。

「自由と自治」を実現していくことは、都立高校では増々困難になっていきますが、増々重要なものとなっていると言えましょう。

金子 純子 家庭 S52〜58

今年3月吉祥女子中等学校を退職し、旅行をしたり、趣味の影金を続けております。

狩保 育浩 体育 H13〜15  
現在は(平成17年4月より)教職から離れています。悠悠自適とはいきませんが、自由な時を楽しんでいます。

河合 美恵 英語 S49〜57  
夫の転勤で知床の近くに住んだり、佐倉では市民の第九に参加したりしております。

岸 修 数学 S49〜62  
13年間在職した附属高校は2回卒業生を送り出し、とてもなつかしいです。現在は日比谷高校で3年生の担任としてがんばっています。

喜多 迅鷹 社会 S25〜45  
「東京を描く市民の会」(「彩の国を描く会」)「横浜を描く会」などの会員。「よみうり」日本テレビ文化センター1講師。最近「ふるさと長崎133景」刊。写真。

工藤 好吉 体育 S29〜63  
67歳ととなります。月曜2時間、木曜3時間テニスのグループに入り、よい汗を流して元気な日々を送っております。

小池 良夫 英語 H7〜  
都立大学附属高校に異動して11年目になります。現在3年生の担任をしています。

小林 伶子 数学 S61〜H10  
昭和40年3月に大学卒業後、都立南葛飾高校、雪谷高校、都立大学附属高校、田園調

布高校と勤め定年退職を迎えました。さらに、都立駒場高校に嘱託として勤め、今年3月教員生活を終了しました。4月から第2の人生を歩き出したところです。

小松 利夫 体育 S24〜44  
体調必ずしも万全とは云えませんが、一寸した山に登ったり、週五回位ゆつくり泳いだり、あとは病弱の家の内のお老々介護役をしています。

小山 利一 地理・歴史・日本史 S62〜H6  
昨年まで教育委員会の高校教育改革担当で、中高一貫校の指導をしており、プレハブの都高へも伺っていました。校長先生は以前からよく知っている方で、情熱ももって都高のことを考えてくれています。現在、教育庁指導部高等学校教育指導課(主任指導主事)に勤務しております。

早乙女 忠 英語 S30〜33  
最後の就職先は中央大学(文学部)で、そこに31年もいました。都立附属は私にとってアルカディアのごとき理想郷で、回想する度に深い感慨を覚えます。

佐治 廣美 体育 S58〜H5  
平成16年に定年退職致しました。都大附の生徒の姿が目に浮かびます。「オレ達、ここに来てバカになってしまった!」澄んだ目に涙が光っていました。(サッカー部2年男子でした)37年間、このようなことのないように戦って来たのだと思います。都大附の生徒との良き思い出が心に焼きついていました。ありがとうございます。

佐藤 進 倫理社会・政経  
現代社会 S52〜59  
町田市にある成瀬高校に勤めています。附属高校の自由と自治という校風は今の世の中でもとても貴重です。よき伝統をいつまでもひきついでいてほしいと願っています。

澤田 洋太郎 教頭(社会・政治) S53〜57  
昭和57年3月、定年を6年残して退職。以後、民間の教育機関等に在職。著作活動をし、20冊近く刊行されている。健康はまずまず。

三戸 雄造 教頭(現副校長) H9〜10  
この4月より都立国際高校副校長として勤務しております。教頭としてのスタンプが都大附であったので、当時のことがなつかしく思い出されます。

渋谷直美 音楽 S60〜H10  
今年の9月で70才となり自分でも信じられない感じですが、忙いスケジューリングから解放され「のんびりした老後」を夢見ています。ただ最近海外的なオペラがあれこれ、それも「字幕付き」はまっています。

渋谷(田中) 梢 体育 S35〜41  
退職後5年、テニス、スキー、ゴルフと余暇(?)を楽しんでいます。

島宮 道男 副校長 H11〜13  
新設校である芦花高(全日制普通科単位制)で3年目を迎えています。

清水 巖 生物 S44〜H4  
都立高校を定年で終わり、現在嘱託4年目です。親子の海の生物観察と、書道、篆刻の教室を開いております。



ふるさと長崎 133景

進藤 綾子 地学・生物

H13~16

2006年3月で嘱託(武蔵高校)を退職します。体力、気力と少しの財力さえ維持できれば、自由に好きな時にどこでも行ける身分になります。

杉山 隆三 国語 H11~15

昨年雪谷高校に転勤致しました。今年から1年生の担任をします。教員生活最後の担任になりますので、一杯頑張るつもりです。

鈴木 寛男 国語・工作

S46~S62

今年で84才になります。都立から奈良教育大学に転任し、そのまま古都に住んでいます。今は小品しか制作していませんが、元気が作ります。

滝沢 公明 国語 S62~H11

都立大で定年退職したあと、都立三田高校にて嘱託員として5年間つとめ終えました。現在は、私立の女学校で国語(古文)を教えています。

滝本 寛 体育 S62~H10

都立江北高校勤務7年目です。

五利 浩澄 数学 S58~H10

都立大附属高校で定年を迎えたあと、日比谷高校で5年間嘱託勤務をしました。現在は年金生活者で、海外旅行をしたり、スキーに出掛けたり気ままに暮らしております。

塚本 利明 英語 S33~38

平成13年に専修大学を定年退職しました。日本比較文学会評議員という実体のない肩書きをもっています。時々昔のことを思い出します。

寺林 靖彦 体育 H11~17

都立大学附属高校に赴任した7年がたちました。サッカー

一部、バレーボール部、バドミントン部、クラスマッチの人達にはお世話になりました。

中里 裕司 日本史 S56~62

もうあと3年で60才の定年です。今、都立日比谷高校で日本史を教えています。

中島 平三 校長 H8~10

学習院大学へ移りました。毎年数名ずつ附高の卒業生が入学してきます。日本英語学会でも卒業生が活躍しています。

西島 允 社会(歴史)

S49~H5

附属を定年退職後、他校での5年間の嘱託も終わり、現在完全な無職。在職中忙しくて出来なかつた勉強に、他の暇つぶしに大変多忙です。

西村 正次 美術 S44~57

まだ元気で絵を描いています。団体は無所属ですが、日動画廊だけ出品しています。

西山 節 英語 S43~60

昭和60年(1985年)に都立大学附属高校を退職、その後拓殖大学に勤務、平成13年(2001年)3月拓殖大学を停年退職。現在は「毎日が日曜日」の生活を送っております。

野本 茂雄 国語 H6~15

8月に中国から戻り、現在何もしていません。専業主夫というところですね。

橋本 きよ子 図書

S63~H8

横浜美術館、その他工房に通い、写真による作品づくりを行っております。

早瀬 昭秀 世界史

S51~H5

退職後(13年)、郷里で生活しています。国立公園巡りし、山麓で、絵画、ガーデニングを趣味にしています。

ネコ4匹(トビ、ベル、プラ、チビ)を庭に放し飼いにしています。

春山 秀雄 英語 S43~H2

22年間勤めた都立大学附属高のあと、下町にある都立深川高校に異動し、そこで定年退職。その後5年間、我が家から最も近い都立高校、都立江北高校で、嘱託として英語科に勤め、2年前にその仕事も終わりました。只今は地元地域有志の方々と「名戸ヶ谷ピオトープ」を育てる会つくり、広報担当幹事として、開発の荒波の中で市内に僅かに残された生きものとの共生空間を守ろうと活動をするかたわら、東京お茶の水にあるアテナウランセでフランス語を勉強中です。

久野 猛 数学 S40~

68歳になり、すっかり老人です。元気で、野球部OBの諸君がごまめに声をかけてくださり感謝しております。もっと多くの方々と再会したいものです。

日原 高志 地理 S61~62

私は都高の32期卒で、(中略)現在は、都立高専に勤務しております。

平野 勝利 英語 H7~13

東京都立深沢高等学校において勤務中。

平山 澄子 英語 H8~17

平成17年4月1日より、目黒地区中等教育学校(仮称)開設準備室に勤務させていただきますことになりました。都立大学附属高校という豊かな土壌に、その80年に及ぶ良い伝統が、平成18年開校する中等教育学校に引き継がれ、豊かな精神を育む学校となる様、御力になればと思っております。

藤井 かね子 体育 H7~

現在も都立大学附属高校に勤務しております。H18年度から新しい中等教育学校と本校が共存します。都立大学附属の校名がなくなるのは、ちょっと寂しく思います。

藤島 広信 化学 S60~64

附高時代も遠い昔になりつつあります。隠遁生活まがいの生活をしております(年金生活)。「附」の文字が無くなるのは残念ですが、伝統を引き継ぎたいです。

堀口 孝男 校長 S60~62

堀口既に75才を越え、自適な生活を過ごしております。学校の統合はこれから常にあることになり、皆様方の努力が常に必要で、大学もこの通りとなるでしょう。今までの大改革です。

堀越 民江 英語 H10~17

伝統と新しい時代に即した学校として発展していく教育に期待をしております。

前澤(富澤) 捷子 体育

S41~60

地域のサークル活動で忙しくとびまわっております。

増田 高廣 校長 S60~62

3月までお引き受けしていただいた都立大学の非常勤講師もやめ、テニスを楽しんでいきます。健康だけが取柄です。

町田 順 体育 S61~H7

昭和61年度から平成7年度の10年間を都大附高で勤務しました。現在は、都立日

広瀬 允人 体育 S62~H12

平成15年3月に定年。現在は都駒場で嘱託として、週3日の授業を担当。残りの3日は、東京都バスケットボール協会副理事長として日本青年館内の事務所に勤務。休日なしの多忙な日々です。

藤井 かね子 体育 H7~

現在も都立大学附属高校に勤務しております。H18年度から新しい中等教育学校と本校が共存します。都立大学附属の校名がなくなるのは、ちょっと寂しく思います。

藤島 広信 化学 S60~64

附高時代も遠い昔になりつつあります。隠遁生活まがいの生活をしております(年金生活)。「附」の文字が無くなるのは残念ですが、伝統を引き継ぎたいです。

三浦 武 校長 S49~52

86才になり、難聴で補聴器がたよりです。脚力も弱まっていますが、まだだけは始まっています。黒地区中等教育学校がどう育つか関心があります。

三木 亘 世界史 S39~46

現職は庭師。うち40坪の里山の手入れはたいへん。東京と京都の共同利用研の研究員。ほかにもあちこちから声がかかって、書く、しゃべる、飲む、カラオケなど。

峰岸 純夫 校長 H1~3

都立大の目黒時代最後の2年間校長を勤めました。都立大が南大沢に移ってから、4年で退職し、中央大学に移り、9年間を過ごし、現在は国学院大学大学院講師。

宮里 康郎 地学 H13~

城ヶ島・大島・長瀬の3回の地学巡検ができることにも感謝しつつ、より一層充実した活動を目指そうと思っております。

村上 美佐子 国語

S52~H7

在職中より、本校ボランティア団体「ネパール会」(任意)

黒高校に勤務しております。

松浦 克美 校長 H15~17

平成17年4月より、首都大学東京、理工学系生命科学コースの教授専任に戻りました。進路相談等、どんなことでもご連絡をお待ちしています。(コースのホームページにメールアドレスがあります。)

松岡 敬久 化学 S38~59

お陰様にて無事に暮らして居ます。

松永 学 数学 H7~

この4月で、都大附11年目となりました。

三浦 武 校長 S49~52

86才になり、難聴で補聴器がたよりです。脚力も弱まっていますが、まだだけは始まっています。黒地区中等教育学校がどう育つか関心があります。

三木 亘 世界史 S39~46

現職は庭師。うち40坪の里山の手入れはたいへん。東京と京都の共同利用研の研究員。ほかにもあちこちから声がかかって、書く、しゃべる、飲む、カラオケなど。

峰岸 純夫 校長 H1~3

都立大の目黒時代最後の2年間校長を勤めました。都立大が南大沢に移ってから、4年で退職し、中央大学に移り、9年間を過ごし、現在は国学院大学大学院講師。

宮里 康郎 地学 H13~

城ヶ島・大島・長瀬の3回の地学巡検ができることにも感謝しつつ、より一層充実した活動を目指そうと思っております。

村上 美佐子 国語

S52~H7

在職中より、本校ボランティア団体「ネパール会」(任意)

に関わっています。故伊藤那幸医師(S51年卒)の呼びかけを契機とし、1994年に設立。会員は故人の同期の方々から在校生まで、父また一般のかたを含め現在350人。現地へのスタディツアーも5回実施。会長は久保謙一元校長。



村人と踊るスタディーツアーの一行

元木 光雄 教頭(日本史)

S47~53

無職。在職時代にまとめておいた旧制府立高校資料の保存に関心をもっている。(旧制府立卒業)

本橋 洋仙 数学 H13~15

嘱託として都立青山高校で働いています。

本吉 侃 英語 S41~46

鶴見大学文学部・文学研究科で英語学を教えています。アメリカの英語辞典の発達を扱った「辞書とアメリカ」を今年中に南雲堂から出版します。

山際 巖 英語 S36~41

細々と暮らしています。加齢によつて失われるものを嘆かず、残されたものを有難く思うように心掛けています。

山崎 象 英語 S59~H7

お陰様で目下は元気でおります。都高が伝統を生かし、

発展することを心から願っています。週2回は外国からの留学生を教えています。祖国のために学ぼうとしている彼等から触発されることは多々あります。

山崎 憲治 地理 S62~H14

2005年10月から岩手大学に勤務しています。

吉越 雪子 国語 H2~3

たった1年ではございますが、授業のこと、生徒さんのこと、今でもはっきり覚えております。現在は私立の中・高一貫校で国語を教えております。

吉田 夏生 日本史 S49~51

山などの自然を撮影して楽しんでます。

吉羽 康子 数学 H1~3

京都ユネスコクラブ、京都ウォーキングクラブで活動しております。大学の同窓会の仕事などで、大学に行く機会も多く、いろいろ勉強させていただいております。都立大学附属高校でお世話になったこと、なつかしいです。

和田 徳雄 物理 H1~14

現在、都立駒場高に勤務しております。

渡部 千代子 地理 H2~15

桜町で嘱託をしています。母親の介護が現実となり、日々追われる状況です。まだ始まったばかりですが、いろいろ考えさせられることが多いです。

渡部 忠雄 国語 S50~H3

ネパール会12年目、小生79歳で役に立たなくなりまして、元氣な方の助力を乞うや切！2000年前後の父母会役員の有志と読書会をやつて14年。喜多さんと月1回裸婦のクロッキー、横浜スケッチをやつています。

山崎 象 英語 S59~H7

お陰様で目下は元気でおります。都高が伝統を生かし、

山崎 憲治 地理 S62~H14

2005年10月から岩手大学に勤務しています。

吉越 雪子 国語 H2~3

たった1年ではございますが、授業のこと、生徒さんのこと、今でもはっきり覚えております。現在は私立の中・高一貫校で国語を教えております。

吉田 夏生 日本史 S49~51

山などの自然を撮影して楽しんでます。

# ついに完成「同窓会名簿2005」

## 発行までの過程

昭和62年版(ブルーの表紙)発行の後、平成9年の発行を目指して調査を行いました。諸般の事情により発行にいたりませんでした。

しかし平成18年度より母校が中・高一貫校に改編されることから、平成15年12月、同窓会の存続と新校との関連を討議する総会を開催し、その議決をへて名簿編集委員会を組織し、平成16年9月、約13,000名の会員(平成9年調査の時点での死亡と不明者を除く)と、その後住所が判明した会員に「調査票」を送り、平成17年9月3日までの返信をもとに、各期・クラスの理事・評議員・協力者・名簿編集委員により編集・校正を行い、18年ぶりに発行にこぎつきました。

しかし18年の空白はあまりにも長く、同期会やクラス会を開き、名簿を自主管理されている期とクラス以外、住所不明者と調査票の未返送者が多く、ほとんどが空欄というクラスも見受けられます。

## 編集方針

①旧制府立高等学校の名簿の形式を踏襲した、新製の歴代名簿の形式に準拠した。

②個人情報保護法により、本人から文書による不掲載の意思が示された項目は不掲載とした。従って、死亡、住所不明者、調査票の未返送者は、本人の意思が示されないことから、氏名(旧姓名を含む)以外は不掲載。

③編集・校正責任は、各期の理事・クラスの評議員とし、決まっていない期・クラスと、編集・校正に協力いただけなかった期は名簿編集委員が代行し、校正責任は免責とさせていただきます。

- ④掲載順序は、
  - ①氏名
  - ②旧姓名
  - ③最終学歴
  - ④在学中の所属クラブ
  - ⑤現住所
  - ⑥電話番号
  - ⑦在職社名
  - ⑧所在地、電話番号
  - ⑨連絡先(実家等)

完成した名簿は、B5判480ページで、同窓会規約、理事・評議員一覧、現・元恩師の名簿、会員名簿、氏名索引、クラブ別索引、付録として「校歌・寮歌・応援歌・記念歌集」の構成となっています。

## 注文の方法

同封の郵便振替用紙に記入のうえ、振替送金をしてください。2週間ほどでお手元にお届けします。頒布価格2,500円

## 今後の同窓会活動

### 名簿管理について

上記「編集方針」②項のとおり、本人の文書による意思表示がない項目は不掲載となり、今後名簿の発行は不可能かと思われ、名簿の管理は、理事・評議員、または幹事により、各期・クラス毎に行うこととさせていただきます。

### 個人情報保護について

同窓会では、蓄積されたデータ等を厳重に保管・管理しており、同窓会の目的に合致した、同期会、クラス会、クラブの会合などの開催に際し、今回の調査票未返送者を含めた住所等の問い合わせに対しては、理事・評議員からの文書による申し入れを、理事長が承認した場合のみ応ずることとします。

### 会報の発行について

昨年に引き続き同窓会会報をお送りしました。が、今後の会員への情報伝達は、記念祭の予告を含め、年一回、8月15日の発行を目指します。同期会、クラス会、クラブ・同好会の会合などが開催され

●但し、昭和62年卒業の第37期〜平成17年卒業の第55期会員(死亡、住所不明者を除く)は、規定により「無料贈呈」しますので、重複して注文なさらないようお願いいたします。

た際は、記念写真を添えたレポートをお寄せください。会報に掲載させていただきます。

### 理事・評議員の決定

理事・評議員の決定と変更の連絡を前号でもお願いしましたが、33、35、38、40、42、44、47、48、50、54、55期は理事・評議員が決まっておらず、同窓会の運営に支障をきたしていますので、同期会、クラス会が開かれた際、各期から1名の理事、各クラスから1名の評議員をお選びいただき、同窓会まで文書でご連絡ください。

また理事・評議員の変更があった場合も必ずご連絡ください。同窓会への連絡は住所の変更、住所表示の変更、同窓会への連絡などは、文書(郵便)で左記までお送りください。

〒152-0023  
目黒区八雲1-1-2  
東京都立大学  
附属高等学校 同窓会  
お送りいただいた情報は、ひと月に1回程度ま

## さようなら、沼津寮

父母会のシンボル「沼津寮」は、平成18年6月をもって60年の歴史を閉じようとしています。

既に皆様ご存知の通り、都立大学附属高校は平成23年をもって「桜修館中等教育学校」へと引き継がれることになっております。

それに伴い昨年来、父母会は特別委員会を立ち上げ、桜修館の「新父母会」をどうすべきか、特に沼津寮等の財産をいかに継承するかなどの検討を続けて参りました。

しかしながら「新父母会」は法人格取得が難しく「社団法人である父母会」の財産を継承することは法律上の縛りから事実上不可能であることが判明しました。

一方父母会も、平成20年以降は新入生もなくなりやがては廃止への道を辿らざるを得ません。このような事情から現時点での沼津寮廃止やむなし(同時に社団としての父母会解散)の結論に至ったことをどうかご理解ください。

幾多の思い出を刻む沼津寮ではありますが、次期父母会定時総会の承認を得て、平成18年6月末をもって閉寮との方針となっております。

取り扱いは理事の責任とし、理事が決まっていない期は、同窓会が厳重に管理します。

最後にもう一度寮に泊まると、などのお申し込み等は、事務担当の柳田(03-3723-9966)毎週火・金9時30分〜15時30分迄ご連絡ください。またこの紙面には載せきれない詳細(我々の手に余りOB皆様のお力を拝借したい問題も山積みしております)は都立大学附属高校のホームページ父母会のコーナーをご覧ください。  
<http://www.toritsu.dain.metro.tokyo.jp/>  
(文責:21期C組 根岸之夫:父母会理事)

## 美研OBによる美術展「八雲展」

1979年都立(府立)高校50周年を記念して発足。旧制時代から美術を担当された松岡正雄先生の薫陶を受けた新制初期の美研OBを加えて第1回「八雲展」が開催され、昨年まで23回を数え、第21回からは若いOBにも呼びかけ、また都立大学OBの美術愛好家も参加するなどメンバーの幅を広げている。

もっと若い人達により多くの参加を求め、美研OBにこだわらず、美術を愛する同窓会員は全て有資格者ということ、是非事務局へ問い合わせを欲しいと「八雲展」では呼びかけている。

毎年5月の下旬、大崎駅前「O美術館」で開催。絵画(油彩、水彩、日本画、版画等)、工芸(陶芸、金工、漆芸等)、ビデオ作品

等が対象。写真、書、手芸(染色、織物、刺繍、パッチワーク等)は対象外としている。  
来年は5月16日〜21日まで「O美術館」で開催  
問合せ先:「八雲展」事務局  
〒203-0033  
東京都東久留米市滝山  
2-5-1-1006  
杉本真理子方  
Tel & Fax  
0424-721015